

Historian's View

NO. 25

□ドライバーとニコニコ(スマイル)

- ドライバーのいないクラブが増えた
- そもそもドライバーとは
- ニコニコはドライバーの仕事
- 富士山部、京都部の場合

2011年1月14日 東日本区1998~2011 ヒストリアン 吉田 明弘

ドライバーのいないクラブが増えた

2010 - 2011年のロースターを見ていて、クラブ役員欄に「ドライバー」のいないクラブが多いことに気づきました。

東日本区65クラブ中、ドライバーを置いているのが28、置いていないのが33、その他の名称(クラブサービスなど)を用いているのが4でした。そのうち富士山部は、11クラブ中10クラブがドライバーを置いていますから、他の部では、ドライバーのいないクラブの比率がもっと高いこととなります。

一方、西日本区においては、88クラブ中、いるクラブが45、いないクラブが41、他の名称(ニコニコ、クラブサービスなど)を用いているクラブが2です。その中で、京都部は、17クラブ全部がドライバーをおいています。反対に、六甲部・瀬戸山陰部・西中国部19クラブ中、18クラブにはいません。

多分、これは、親クラブや近隣クラブの影響によるものでしょう。ドライバーの有無、あるいは名称の違いは、その役割をクラブ内で誰かが果たしているのであれば、こだわることはないと思います。クラブにDriverという役はなくても、Driveする人がいれば良いわけですから。

そもそも、ドライバーとは

「ドライバー」と言われて、初めは、なんでクラブの役割に運転者がいるのだろうと、疑問をもった人が多いと思います。運転者でないことが分かっても、それじゃあ、何なの？と聞かれると、ひとことでは答えにくいものです、

辞書によれば、ドライバー(Driver)とは、追いやる人、各種乗物の運転者、監督・親方、動力伝動部、ゴルフの最長打用クラブ、の意味があります。日本では、「ネジまわし(Screw driver)」、すなわちクラブのネジを締める役割だと理解されていることが多いようです。

『ワイズ用語集』には、ドライバーは、「ワイズ運動および例会の推進役。クラブによっては、マーシャル、クラブサービスと呼んでいる。直訳は、“強く動機づける人”、“運動推進役”となる」とあります。とても重要な役割なのです。

この定義は、あなたのクラブのドライバーの役割と比べて、いかがでしょうか。

私流のドライバーとは

いわゆる中小クラブで、生まれ育った私は、ドライバーを、次のように解釈していました。

ワイズの役員は、原則的に1年で交代します。ですから、クラブ会長はじめ役員が、メンバーやクラブ運営について、すべてに通じ、熟知して就任するわけではありません。メンバーの教育にもなかなか手が回りません。会長を支える黒衣たちがいて、クラブがスムーズに動いていきます。その陰の「世話人たち」の代表がドライバーで、個人プレーによって組織の隙間を埋めているのだと思ってきました。

具体的な役割としては、例会プログラムに沿った座席の配置、装飾、入会式や役員交代式の備品などの用意、会員情報にも気をつけ、欠席会員への心配りなどです。例会の受付や司会は、専門職が担当するともいうべき重要な役割ですが、みな

で順番に分担するクラブが普通ですから、そのバックアップもあります。

それには、知識と経験と、若干の時間的、気分的な余裕が必要です。

しかし、現実には、これらの仕事は、書記や、その月の例会担当者（班）が受け持ったり、有志メンバーが自発的に受け持って、ドライバーの仕事は、ニコニコ献金の担当だけというクラブが増えてきているという認識でした。

今回、東・西日本区で、ドライバーを重視している富士山部と京都部にその仕事振りとクラブの期待を聴いてみました。

富士山部のクラブでは

まずは、富士山部の湯河原クラブの北村文雄さんから。

- ① 富士山部のクラブは、複数委員によるドライバー委員会(以下委員会)を置いています。
- ② 毎月の例会での役割（司会・受付・開会の祈り・食前の祈り・ワイズの信条・開会の辞・閉会の辞）は、委員会で決めます。例会の受付については、クラブ会計が責任者として指示を出すところもあります。ほとんどのクラブが年間の役割表を年度初めに作ります。
- ③ 多くのクラブは、卓話者の選定をドライバー委員会と合同で協議します。メンバーに呼び掛け、候補者を募り、決定、交渉まで委員会が主導します。
- ④ 委員会は、部内他クラブ委員会と毎月、連絡し連携を保っています。
- ⑤ 前年度の次年度部役員研修会で、各クラブの次期ドライバー委員長・委員名簿が公表、配布され、例会開催通知、メーキャップ、ビジターの出席の連絡先の確認が行われます。
- ⑥ 富士山部では例会出席 100%を目標としているクラブがいくつもありますので、それらのクラブに迷惑が掛からないように、各クラブのドライバーは、メーキャップ等の手続きには細心の注意を払います。部内各クラブは

例会開催日、開催時間、開催場所、開催方法等に変更があった場合、各クラブのドライバーを通し、メンバーに告知してもらいます。また、他クラブメーキャップ申し込みもドライバーを通して行います。

前述したように出席率 100%を目指しているクラブ（富士山部の半分のクラブ）のドライバーは厳しい役割を担っています。メーキャップに付添ってクラブ訪問に同行したりするのは当たり前前のようなようです。その他のクラブでも、ドライバーは例会欠席メンバーへの出席呼び掛けの電話や訪問等、涙ぐましい努力をします。

例会はドライバー委員会が仕切ります。会場のホテルとの食事の予約についての打ち合わせ、当日は早めに来て、例会場の設営などを行います。

京都部のクラブの場合は

京都部のクラブのドライバーについて、京都キャピタルクラブの場合を、同クラブの岡本尚男さんに尋ねてみました。次のような答えが返ってきました。

京都キャピタルクラブは、1983年に京都パレスクラブによって生まれた双子クラブの片方です。会員は、38人。例会は月2回、これに役員会が1回、委員会がありますから、クラブ三役は、毎週、何かの会合に出席しています。

例会は、通常は午後7時から9時までです。クリスマス例会は、6時から10時までです。

例会を費用の割に満足度の高い食事とプログラムにすることによって、会員のクラブへの帰属意識を向上させるように努めます。ドライバー委員会は、その要です。

- ① 今年度のドライバー委員は6人です。そのうちの一人は三役が入り「担当三役」と称しています。
- ② 年間を通してゲストスピーカーの選択と依頼、送迎などの役割もあります。
- ③ 例会は時間厳守です。そのためには例会プログラムの質の向上が求められます。分刻みの

台本が準備されています。急に人が変わってもその場面で言うべきセリフは決まっています。

- ④ 例会の司会は、主にドライバー委員長が行うことが多いのですが、年度によっては委員が順番で担当します。
- ⑤ ドライバーは、開会から、出席者全員へのホスピタリティーをもって、会の終わりまで愉快地楽しく過ごしてもらい、送り出します。岡本さんは、こうも言っています。

「ドライバーとなった人は、そのことで訓練をされているのです。自分の世界に戻った時には、その経験が役立つ時があります。また、人前で話す訓練にもなり、将来のリーダーシップ養成の場ともなります。私はクラブ例会の活性化にはこの役目は欠かせないと思っています。クラブを一つの商店に例えれば、会員というお客様を快くもてなし、出席してよかったという満足感をもって帰宅してもらい。会員にはゲストに対する気遣いが求められることは、別の意味で当然の使命であることを実感してもらい教育的目的も隠されています。自分がしてもらって良かったことは人にもさせてもらうという学びにもなることでしょう。これが自分の知人などを誘うきっかけとなり会員増強に繋がります。」

「私たちのクラブでは会長を 2 回はしないという暗黙の姿勢があります。会長に選出されることが如何に価値のあることであり、逆に言えば、それまで勉強していたことがどのようにリーダーシップとして発揮されるかを元会長たちが固唾をのんで見守っていることとなります。」

京都部の状況を、京都ウエストクラブの森田恵三さんに補足してもらいました。

「京都部では、京都パレスクラブを源流としたクラブが多く、同クラブが 40 年前にやり出したことが、連綿と続いて、よく似ています。現在はクラブの数は多いのですが、小型クラブが増えていますから、ドライバー委員の人数も少なくなっています。京都ウエストクラブも同様で、今期は

EMC との合同委員会として動いています。」

「基本的には月 1 回、会長・副会長の出席（6～7 人の出席）のもとに委員会を開き、年初に決まっている例会を除いて、2～3 カ月先の例会内容の計画を練り、決定後にオープン役員会の審議（会員の全員が対象ですが、決定には役員のみ参加）にかけることとしています。」

「例会の司会は、重要な特別例会は委員長ですが、司会・食前感謝・ニコニコマン・などの役割はプログラムを作る委員長が決めます。」

ニコニコはドライバーの仕事

前記の『ワイズ用語集』には、ドライバーの役割として、「献金を促したり例会を盛り上げる人」とも記しています。

これは、「献金を促すこと」と、「例会を盛り上げること」とが分かれた表現ですが、TOF や CS の献金は別に担当がいますから、これは、「献金を促すなどで例会を盛り上げる人」と受け留めた方が良いと思います。

この献金を、クラブによって「ニコニコ」、「スマイル」、「ファイン（罰金）など」と呼んでいます。横浜クラブ、横浜とつかクラブは、「ロバ献金」と言い、驢馬の貯金箱で集めます。東京まちだクラブは、2002 年のシドニー国際大会のお土産の羊のぬいぐるみのティッシュボックスカバーを加工したものです。「コインも食べますが、紙の方が好みます」というところが、ワイズならではのユーモアでしょう。

この献金は、ドライバーが取り仕切り、楽しく、例会を盛り上げることが肝心です。例会の中でこれを一番の楽しみにしている人もいました。

楽しさの中に、会員の相互理解、クラブ理解、それぞれの存在意義、情報提供、が含まれているのです。

ドライバーは、前月の例会からその日までに「おめでた」のあった人を探し出して、披露して献金を求めます。家の新築、結婚、出産、還暦、定年、叙勲、新車購入、子どもの入学・就職・卒

業・結婚・出産などです。また、ワイズにおける役を果たして、「おめでとうございます」というケースもあるでしょう。

これらは、自分からはなかなか言い出しにくいことですが、まわりが言ってくれば嬉しいものです。

一方、クラブの約束事に違反した場合は、ファイン（罰金）をとることもあります。例会への遅刻、クラブバッジの不装着などです。これが難しいのは、本人も申し訳ない気持ちもあるのですから、個人攻撃にならないようにするのがドライバーの腕です。「今日、遅刻した人とバッジを忘れた人は、全員」とでも言えば、「今日はジャケットを変えたので・・・」とか、ぼやきながら献金してくれるでしょう。

あるクラブのYMCA歴も長く、ワイズでは会長まで経験した人が「ニコニコ」が理由で退会したと、聞きました。例会に遅刻し、罰金をとられたので憤慨したとのことでした。仕事で遅くなったけど、顔だけは出そうと思って駆けつけたのに・・・、という思いだったのでしょう。これがすべての理由だとは思えませんが、心が弱くなっている時には、笑い飛ばせず、引き金にもなるのだと思います。

子どもが入学した人と浪人が決まった人がいる場合は、「進学」としないで「卒業おめでとうございます」と言い換えるなどの配慮が必要です。

罰金といっても、「若くてきれいなお嫁さんもらって、けしからん」といえば、「まいったな」と言いながらも笑顔で罰金に応じるでしょう。

親睦のためにやっていることが、裏目に出たのでは、なんにもなりません。ドライバーは、常にその人と自分、あるいはその人とクラブの距離間をも念頭に入れておくことが大切です。

個人のネタを集めて加工する達人は、村杉克己さん（東京北）です。区役員会の夕食会のときに司会を務める際には、通常30人以上、新旧役員合同のときには60人くらいをひとりずつの話題で紹介して、短いスピーチをしてもらっています。

これは無形文化財というべき技です。

近年、このようなニコニコが減って、出席者がひとことずつ話しながら、献金袋を回すケースが増えているようです。

富士山部、京都キャピタルのケース

富士山部では、熱海クラブに倣って、ニコニコをスマイルというところがほとんどです。親睦委員会が担当しています。

熱海クラブや、伊東クラブでは、親睦委員になると、月に何回か会合を持ち、地元で発行されているローカル紙誌の隅から隅まで目を通し、それぞれが数名の情報提供者をもち、メンバーの近況を調べあげます。いわゆるタレこみも盛んで、慶事や、地域への貢献、果ては新車購入、旅行などの情報が上がります。

スマイルは、1件千円が普通なので、以前は1人で5つも6つもスマイルを取られる人もいましたが、現在では上限が3千円に決められているようです。4つ目以降はお金を出さず、皆の拍手で終わりです。発表は親睦委員長、親睦委員が入れ物を持ち、テーブル間を駆けずりまわります。

このスタイルを維持しているのは、現在では熱海クラブと伊東クラブだけで、他のクラブは、仕切るのは親睦委員会ですが、袋を回して、ヒトコトという形がほとんどです。

京都部のクラブでは、ニコニコはドライバーの役目で、年間の目標を決めています。例会でのコミュニケーションの円滑化に資すると共に、会員の慶事などの発表の場となり、その人となりや皆が理解することに役立ち親睦を深めると認識されています。

なぜ、ドライバーが減ったのか

かつて、例会の花形だったドライバーが、どうして減ってしまったのでしょうか。原因のひとつは、喜ばしいことでもあるのですが、クラブ運営が、メンバーに浸透して、ベテランに頼らずに組織的、あるいは、気働きする人によって進められ

るようになったのではないのでしょうか。そのため、ドライバーの仕事は、ニコニコ献金に限られてしまったのです。このニコニコの形式が、「袋順送り型」になったため、ドライバーの活躍場面がなくなってしまったのです。

なぜ「袋順送り型」となったのかにも、理由があります。多くのクラブで、平均年齢が上がり、あまり生活や周辺に変化がないメンバーが増えてきてネタが集めにくくなっていることです。また、例会出席者が少ないと、いつも同じ人がターゲットになってしまうことです。また、ドライバー適任者がなかなか得られないということも挙げられるでしょう。

あとがき

今回は、「ドライバーの役割は重要ですね」「しかし、その役割を誰が担当するかは、クラブによっていろいろです」、「ニコニコは、楽しくやりたいですね」ということで終わる積りでした。

しかし、それではあまりにも単調なので、色を加えようと、ドライバーの多い富士山部、京都部の様子取材しました。

思いがけない答えが返ってきました。どちらかといえば、経験豊富なベテランメンバーが余裕をもってやるという、東日本区型に比べて、京都型は、ドライバーの役割自体が本人の勉強だという考え方です。それは、クラブのありように関わる問題でありました。この違った考え方を、ひとつの文章の流れにまとめできません。両論併記といく形にしました。

実は、私のクラブにドライバーがいなくなって久しいことに気付きました。不覚でした。心くばり出来るメンバーが多いので、例会の準備などはドライバーはやらなくなっていました。例会の終わり近くにやるニコニコが唯一の出番でした。以前は、ドライバーが腕をみせる文字通りニコニコ献金でした。しかし、いつかから司会者が、ボックスを回し、出席者を一周するようになつたのです。献金はコインを原則として、ボックスが自

分の前に来ると、ひとことスピーチをして、献金します。初めは、それぞれが近況を話して、結構、面白かったのですが、毎月となると、話題に困ることもあり、誰かが、卓話者に対するお礼を言ったら、その方が楽なものですから、伝染しました。他のことを話題にすると、卓話がつまらなかつたようにも取られかねないのです。福祉関係の話の時など、「もっと関心をもって、協力しなければならぬ」と思いました。ありがとうございました」などと、次々に言って、袋にお金を入れるので、事情の分からない講師が、帽子を回して寄付を集めているのかと、勘違いして、自分の番になって、「なんだ、違うのか」、と気付くわけです。卓話についての感想や感謝は、卓話の後の質問のときにして、そこで会長、または司会者が、きちっと礼を述べた方がスマートな感じがします。なんとかならないものかと、いつも思っています。

ワイズのような組織では、人の変わり目などでどうしても隙間ができてしまいます。その隙間を埋めることが必要です。後部座席から、あれこれ運転者に指図する、いわゆるバックシートドライバーではない、足りないところを黙って補ってくれる世話役をいかに確保するかが、クラブにとっては重要です。

また、例会に出席したら、みんなが一言は発言できる機会をつくるべきだという意見も根強いのです。(私は、それは別の問題で、話なら、開会前、閉会后、食事中でもできると思っていますが、メンバー数の多いクラブでは、時間的に出来ません。)

ニコニコの時に、発言する代わりに、紙に感想や近況を書いてもらい、次号ブリテンに掲載しているクラブもあります。これもブリテンの紙面の都合で大きなクラブでは出来ませんが、皆が参加できること、例会の時間を有効に使うという点では面白いと方法です。

いろいろと工夫して、クラブに合った、楽しくダイナミックなニコニコが生み出されると良いと思います。